

風間 杜夫 (かざまりお)

1949（昭和24）年東京生まれ。59～66年子役として活躍。早稲田大学演劇科、俳小養成所を経て、71年「表現劇場」を旗揚げ。77年より「劇団つかこうへい事務所」作品に多数出演。82年映画『蒲田行進曲』で人気を博し、83年テレビ『スチュワーデス物語』教官役で一世を風靡した。以降、その演技力に対し高い評価を受けて、幅広いジャンルで活躍。舞台・テレビ・映画・声の出演に加えて、1997年より落語にも取り組み、毎年数多くの高座に上がり独演会を開くなど、華のある実力派俳優として第一線を走り続けている。

<主な受賞歴>

- 1983年 第6回 日本アカデミー賞最優秀助演男優賞受賞『蒲田行進曲』
- 1983年 第18回 紀伊國屋演劇賞個人賞受賞『朝・江戸の酔醒』
- 1984年 第7回 日本アカデミー賞最優秀助演男優賞受賞『人生劇場』『陽暉楼』
- 1988年 第12回 日本アカデミー賞優秀主演男優賞受賞『異人たちとの夏』
- 2003年 第58回 文化庁芸術祭賞演劇部門大賞受賞『ひとり芝居三部作』
- 2004年 第11回 読売演劇大賞最優秀男優賞受賞『ひとり芝居三部作』『死と乙女』
- 2010年 秋の叙勲 紫綬褒章受章
- 2021年 第46回 菊田一夫演劇賞大賞受賞『セールスマンの死』『女の一生』『白昼夢』
- 2022年 第63回 毎日芸術賞受賞
- 2023年 春の叙勲 旭日小綬章受章

<主な近年の出演作品>

●舞台

『カラオケマン 最後のロマンス』（2023 水谷龍二演出）、『ふるあめりに袖はぬらさじ』（2023 齋藤雅文演出）、『少女都市からの呼び声』（2023 金守珍演出）、『バンズ・ヴィジット』（2023 森新太郎演出）、『白昼夢』（2021 赤堀雅秋演出）、『セールスマンの死』（2021・2018 長塚圭史演出）、『女の一生』（2020 段田安則演出）など。

●映画

『浅草キッド』（2021 劇団ひとり監督）、『アンダードック』（2020 武正晴監督）、『蚤とり侍』（2018 鶴橋康夫監督）
『こいのわ〜婚活クルージング』（2017 金子修介監督）、『本能寺ホテル』（2017 鈴木雅之監督）
『スキャナー』（2016 金子修介監督）、『FOUJITA』（2015 小栗康平監督）など。

●テレビ

『アトムの子』（2022 TBS）、『拾われた男』（2022 NHK）、『日本沈没』（2021 TBS・10月より放送）、『小吉の女房2』（2021 NHK）、『エール』（2020 NHK）、『ケイジとケンジ』（2020 テレビ朝日）、『西郷どん』（2018 NHK）
『先に生まれただけの僕』（2017 日本テレビ）、『エイジハラスメント』（2015 テレビ朝日）、『ごめんね青春！』（2014 TBS）、『八重の桜』（2014 NHK）など。